

資料1 合科的な単元〔かざわであそぼう〕の目標（1年 理科、図工、国語）（一部）

教科	理 科	図 画 工 作	国 語
単元名 配当時数	うごくおもちゃ (7時間)	かみのけんだま(かざぐるま) (2時間)	おもしろかったことをかこう (6時間)
合理的な取 り扱い時数	3時間	2時間	1時間
教科単元 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○風やゴムの働きを利用して物を動かすことができることに気づかせる。 ○風やゴムで動くおもちゃをつくり、よく動くようにくふうさせる。 ○風やゴムで動くおもちゃをいろいろくふうして、つくらせ、さらにつくりかえさせる。 ○創意、くふうして自分でつくることの楽しさを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な材料、画用紙やあつ紙などを利用して切りぬいたり、輪をつくったりして、遊び道具をつくらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○経験したことの中から心に残っている事柄を選んで詩的表現で書き、読み返して誤りなどを直すことができるようにさせる。 ○書きたいことが適切に表現できるように言葉の使い方を考えさせ、くふうさせる。
合科的な 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ものを動かす風のはたらきに気づき、風で動くおもちゃをいろいろくふうして作りさらによく動くように作りかえることができるようにする。 ○画用紙の輪から創意、くふうして道具をつくりだし、作ったもので遊ぶ楽しさを味わうことができるようにする。 ○かざわ遊びの活動の中から、おもしろい、ふじぎだなどと思ったことを短い言葉で表現することができるようにする。 		

三、研究実践の概要

低学年における合科的な指導も、教科指導同様、授業の中で気づき、わかり、そしてできるためには、話すとか書くとか実際に自分で行ってみたいという体験的学習を通して身につくものであると考える。

合科的な指導で特に重要な研究内容である合科的な単元目標の設定・指導計画そして学習指導の展開については、資料1・2・3のそれぞれに示した。

資料2 合科単元の指導計画（総時数10時間）

中核教科(理科)	合科的な学習単元の組み立て	関連教科(図工・国語)
<p>うごくおもちゃ(7時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○風の力を体感でとらえ、身近なものをころがして、よくすを観察する。 ○身近なポリ Copp を風でころがし、ころがらないわけを考えたり、よくころがるようにくふうしたりする。 ○かざわをころがして、さらによく動くようにはねをつけたり、かざわを2つつけたりくふうする。 ○かざわでころがり競争などをして遊ぶ。 ○身近な材料を使って、かざわや風車など、風で動くおもちゃをくふうしてつくる。 ○つくったおもちゃで楽しく遊ぶ。 ○かざわや風車の動いたようすを話し合い、かざわや風車は風のはたらきで動くことをまとめる。 	<p>第一次 〔風でもものがころがるよ〕……………1時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○からだで風を受ける。 ○かさ、ふろしきなどで受けとめる。 ○あきかんをころがす。 <p>第二次 〔ポリ Copp ころがし〕……………1時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポリ Copp 1こ、ころがらないわけ ○ポリ Copp 2こつなぎ ○ころがるくふう <p>第三次 〔かざわをつくろう〕……………2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○円盤型のかざわづくり、切りぬく、はねづくり ○よくまわるくふう、はねのまがり、かざわ2つつなぎ、風のみちさがし ○ころがり競争、かざわの修正 ○かざわがころがったようすの発表 <p>第四次 〔いろいろなおもちゃをつくろう〕……………2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かざわや風車のくふう ○つくったおもちゃで遊ぶ、友達と交換して、しくみの説明、修正 ○おもちゃが動くようすの発表 <p>第五次 〔詩を書こう〕……………1時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かざわや風車の動いたわけ。 ○動いたようす、動かしたよろこびを文章で表現 擬声語や擬態語を大切に詩作 	<p>図画工作</p> <ul style="list-style-type: none"> かみのけんだま(かざぐるま)(2時間) ○紙を切りぬいて輪をつくり、遊びどうぐをつくる。 ○はさみやのり、セロファンテープの使い方について慣れる。 ○つくったものを、よりよいものに修正したりしながら、それを使って楽しく遊ぶ。 <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> おもしろかったことをかこう(1時間) ○風でおもちゃが動いたようすを擬声語や擬態語を使って話す。 ○おもちゃで遊んで楽しかったようすを擬声語や擬態語などを使って短い文(詩的な文)で表現する。